

有機農業

農薬・化学肥料の不使用・使用低減

温室効果ガスの削減・吸収

スマート農業省力化技術

食品ロス削減

国産、地場産の供給拡大

その他

神田大浦農場（埼玉県入間郡毛呂山町）



【生産概要】（令和5年産）

有機野菜 2.5ha(長ねぎ)

減農薬栽培 0.3ha（さくらんぼ）

【経営概要】2009年6月就農、従業員10名（常雇パート）

代表者：大浦 正国（写真）、神田 大嗣

2019年1月 有機JAS認証取得

【販売概要】「TOPVALU グリーンアイ」としてイオン系列での販売のほか、ヤオコー、ナリタヤ、生活クラブ等のスーパーや生協でも販売

■取組の特徴

・BLOF理論(*)に基づく科学的な有機農業に取り組む。作付け前に土壌分析を行い、過不足なくミネラル・堆肥を施し、化学合成農薬や化学合成肥料を使用せずに長ねぎを栽培。農地を3分割し、1/3に作付け、2/3は土づくりの期間に充てている。さくらんぼは有機肥料を使い、ネットで防除し農薬の使用を減らしている。

■取組のきっかけ

・イオンとの取引を始めるにあたり、有機JAS認証の取得を勧められたこと。

■取組のメリットと工夫・苦労している点

・有機JAS認証の長ねぎは供給量が少ないこと。また、販売価格を慣行栽培品と同程度に設定し、有機コーナーではなく一般棚に陳列することで売上げUPに繋がっている。生産面では、雑草対策に苦慮している。

■新たに取組を始める人へのアドバイス

・いきなり有機農業に取り組むのではなく、生産技術の知見が多い慣行栽培も検討してみてもどうか。一定の生産技術を身に付けてから有機栽培にチャレンジすることで、リスクを小さくすることができると思う。

(*) BLOF理論とは、「Bio Logical Farming:生態系調和型農業理論」です。

事務所所在地：埼玉県入間郡毛呂山町川角2049-1

電話：070-5453-5735